

有明工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	文学特講	
科目基礎情報							
科目番号	0054			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子情報工学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	後期:1		
教科書/教材	『戦争と平和』（プリント作成） B B C ドラマ『戦争と平和』 DVD						
担当教員	藤崎 祐二						
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	文章を読解し、文脈と要点を適切に把握することができる。			文章を読解し、文脈と要点を把握することができる。		文章を読解し、文脈と要点を把握することができない。	
評価項目2	『戦争と平和』に関する基礎知識を深く理解し、作品理解に役立てることができる。			『戦争と平和』に関する基礎知識を理解し、作品理解に役立てることができる。		『戦争と平和』に関する基礎知識を理解し、作品理解に役立てることができない。	
評価項目3	トルストイの生い立ちや思想を深く理解し、自分なりの考えを持つことができる。			トルストイの生い立ちや思想を理解し、自分なりの考えを持つことができる。		トルストイの生い立ちや思想を理解し、自分なりの考えを持つことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A-1 学習・教育到達度目標 A-3							
教育方法等							
概要	『戦争と平和』 後半部の構成と内容を学ぶ。						
授業の進め方・方法	・『戦争と平和』後半部を概説する。その際、19世紀ロシアの社会・文化的背景や、作者トルストイの思想にも触れ、作品理解を深めることができるようにする。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	・ガイダンス ・トルストイについて		・学習目標と授業の進め方を理解できる。 ・作者についての知識を身につける。		
		2週	・『戦争と平和』 その 1		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		3週	・『戦争と平和』 その 2		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		4週	・『戦争と平和』 その 3		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		5週	・『戦争と平和』 その 4		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		6週	・『戦争と平和』 その 5		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		7週	・『戦争と平和』 その 6		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		8週	・『戦争と平和』 その 7		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
	4thQ	9週	・『戦争と平和』 その 8		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		10週	・『戦争と平和』 その 9		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		11週	・『戦争と平和』 その 1 0		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		12週	・『戦争と平和』 その 1 1		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		13週	・『戦争と平和』 その 1 2		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		14週	・『戦争と平和』 その 1 3		・登場人物の心理と行動を理解できる。 ・文中の難解な表現を理解できる。		
		15週	期末試験				
		16週	テスト返却と解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	10	20	100
基礎的能力	70	0	0	0	10	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0